

地域の魅力を高める歴史的資産の使い方を創造する

32 魅力発掘調査からわかったこと

前項でも示した通り、地区ごとに歴史的町並みの構成要素として、自然的要素・社会的環境要素・その他に大別した「景観構成要素」、ならびに歴史的町並みの形成を阻害する要素として「景観阻害要素」の2項目を抽出している。歴史的建造物(建築)が地区の主要な軸に沿った形で集中しており、その様子は3地区に共通する景観構成要素となっている。他方で、景観阻害要素としては空き家・空き地(写真1)が地区範囲内に広く点在してしまっているのが課題となっている。今回実施した魅力発掘調査から得られた各地区の知見を以下に示す。

■ 栃木市嘉右衛門町地区

1. 泉町通りを境に地区南部の旧日光例幣使街道沿いに景観構成要素が多く、景観阻害要素が少ないことから、歴史的な町並みはこの地区に集約的に形成されている(写真2)。
2. 地区東側境界沿いの旧日光例幣使街道と並行する道沿いに景観阻害要素が多く分布している。特に、この道沿いには空き地が多く、町並みの連続性を阻害している。つまり地区北・東部は、良好な町並みが保たれているとは言い難い。しかし、全体的に老朽度が高い、若しくは看板建築、中高層建造物といった規模の大きい阻害要素はあまりみられない。
3. 嘉右衛門町地区の歴史的建造物は概ね幕末から明治末期にかけて建てられたものであり、切妻、瓦葺を基本とする。特に旧日光例幣使街道南部に、連続的に下屋を張り出した歴史的建造物が多く見られ、町並みの連続性を保っている。



写真1 連続性を阻害する空き家・空き地



写真2 旧日光例幣使街道沿いの歴史的



写真3 石張り舗装された道路



写真4 建物や門・塀の連続性

4. 地区の最大の特徴として、巴波川に沿って湾曲された旧日光例幣使街道がある。天保 8 年の古地図には旧例幣使街道の東側に「大ぬかり沼」、「神明宮」が存在し、これらが旧日光例幣使街道を湾曲させた最大の理由として考えられる。

■ 栃木市栃木町地区

1. 栃木町地区の特徴から3つのエリア、即ち、大通り沿道・巴波川沿道・社寺地区に大別できる。大通り沿道では、歴史的建造物が集中した町並みがある点、巴波川沿道では歴史的建造物だけでなく町並みに配慮された塀等も多く見られる点、社寺地区では石張り舗装された参道(写真3)と東西方向に歴史的な町並みがある点が、各地区の特徴である。尚、今後これら地区間の連続性を高めることにより、地区間の回遊性を高める必要がある。
2. 栃木町地区の課題として、歴史的建造物の連続性が低い点が挙げられる。今後、歴史的建造物間の建造物及び工作物等、並びに、空き地の利活用や空き地の修景により、如何に歴史的建造物を活かした町並みの連続性を高めるかといった点に課題がある。また、地区北部の中高層建築(市役所)により嘉右衛門町地区との連続性が途絶えており、今後、町並みを検討していく際、そのあり方を考えていく必要がある。

■ 真壁地区

1. 真壁地区は、城下町に由来する在郷町としての特徴が色濃く残り、門の連続性が特徴的である。御陣屋前通りを中心に、高上町通り、下宿通りの東側、上宿通りの西側に歴史的建造物及び類似する屋根伏せ形態、並びに、その他の景観構成要素が集中している。しかし、老朽度の高い建造物、看板建築及びサインが連続する街路もあり、景観阻害要素も多く分布する。一方、地区外では景観阻害要素が比較的少なく、建物や門・塀の連続性による町並み(写真4)が形成されている所もある。つまり、歴史的町並みに関しては、地区内外といった広域的な範囲内で見られる点に特徴をもつ。
2. 町並み形成に関する課題は、歴史的建造物が少ない小路や商店街における景観阻害要素、また、歴史的建造物が多い街路における店舗用途の建造物に付随する、袖看板や置き看板が挙げられる。特に、老朽度の高い建物、町並みを阻害する塀及び空き地は、規模が大きいほど町並みの連続性を大きく崩す要因となる。今後の展望として、撤去や修景が容易である袖看板や置き看板、自動販売機等は短期間での改善が期待でき、建造物・塀の修景と合わせて、御影石を用いたモニュメント・石碑や、樹木を増やすことが、良好な歴史的町並み形成に向けた取り組みとして考えられる。

以上から、魅力発掘調査結果として、その要旨を表1にまとめた。

表1 魅力発掘調査結果の要旨

地区名		景観構成要素			景観阻害要素
		歴史的建造物		その他	空き家・空き地
		建築	工作物		
栃木市	栃木町 (伝建予定)	大通り沿い 特に北部に集中	(塀)巴波川付近 (門)地区北部	(樹木)地区全体 中でも第二公園	(空き家)ミツワ通り (空き家・空き地)例幣使街道沿い
	嘉右衛門町 (重伝建)	例幣使街道を 軸に地区南部	翁島・代官屋敷 付近に多く	文化財サイン・鳥居等 地区南部	(空き家・空き地)ともに広範囲に分布 歴史的建造物の空き家が少ない。
桜川市	真壁地区 (重伝建)	御陣屋前・下宿通り	下宿通・見芽通り	御影石で造られたサイン 御陣屋前・下宿通り	(空き家)御陣屋前通り

参考文献 (下線の文献は、本項に関する発表論文等を示す)

- 1) 天野正昭,天野克也,大橋好光,横内基,大島隆一:重要伝統的建造物群保存地区における空き家・空き地の実態に関する研究 茨城県桜川市真壁地区を対象として、日本建築学会大会学術講演梗概集、都市計画、pp.1099-1100、2014年9月